

提案・発表内容の概要

●テーマ

市民・住民参加型の再生可能エネルギー発電所をつくるための「市民ファンド」

●提案内容

喫緊の問題となっている「脱炭素」を他人ごとにせず、「自分ごと」として解決するため、発電所を作る際、一般市民（特に、地元住民）がお金を出す仕組み、すなわち「市民ファンド」の活用を提案します。

●当社の役割

金融商品取引業者として、その地域の要望に応じた「市民ファンド」を提案し、さらにファンドの募集、運用管理を行います。

その他、「市民ファンド」以外でも、その地域の発電所づくりに合った資金調達方法を地域の方と一緒に検討し、アドバイスもします。

●具体的な発表内容

「市民ファンド」の仕組みや使い方をこれまでの事例を用いてお伝えするとともに、「市民ファンド」の利用により以下のことが実現できることを発表したいと考えています。

- 1) 地域に市民参加型の再生可能エネルギーの発電所を増やせること。
- 2) 再生可能エネルギー発電所をつくる際、その費用の全部又は一部を地元の方のお金で賄うことにより、発電所からの収益をその地域に還元できること。
- 3) 大企業により発電所が建設される際、地域共生策として「市民ファンド」を用いることで地域の合意形成手段になりえること。
(なお、「市民ファンド」の出資者は個人に限定されるものではなく、自治体、農協・漁協・森林組合、その他地元企業など、法人が出資参加する仕組みも構築できます。)
- 4) 「市民ファンド」の仕組みを応用することで、発電所からの収益をお金ではなく電気そのもので分配する仕組みも構築できること。
- 5) 「市民ファンド」の出資者を地域住民に限定せず、全国各地から出資者を募ることで、5～10年のファンドの契約期間中、その地域の「関係人口」および「ファン」を創出できること。

(なお、①配当の一部を地元特産品でお返しする、②ファンド報告書を通じて地域の情報発信し、ふるさと納税等へつなげる、③出資者に向けて発電所見学ツアーを開催し、その地域に来てもらう、といった施策も採り得ます。)

- 6) 最終的には、地域における「脱炭素（カーボンニュートラル）」につながること。

以上